

# 「北運河」振興へ催し 今年も

小樽運河沿いの旧北海製缶小樽工場第3倉庫（小樽市港町）を核に、北運河地区の活性化を目指すイベント「KITAUNGA Design DISTRICT」が20、21の両日、昨年10月に続く第2弾として、同倉庫や運河公園（色内3）で開かれる。大学生らによるシンポジウムや、同倉庫の夜間ライトアップをアーティストらが演出する企画などが行われる。

## あす、21日 第3倉庫 夜間照明で演出

同倉庫の利活用を進めるNPO法人「オタル・クリエイティブ・プラス（OC+）」の主催。同公園ではパンや焼き菓子などを提供するマルシェ（両日午前11時～午後6時）を開き、5店が出店する。同公園休憩棟でのシンポジウムでは北海道大、

小樽商科大、札幌大谷大の学生らがまちづくりなどをテーマにした研究成果を発表。北海道職業能力開発大学校（小樽）の駒木定正特別顧問は北運河について解説する。

旧日本郵船小樽支店（色内3）では、同支店内の壁紙「金唐革紙」の版木を使ったワークショップなども行う。OC+の福島慶介専務理事は「北運河に行くワクワクできる。そう感じてもらえるイベントにしたい」と話す。

## マルシェ、大学生らシンポも

詳細はOC+の公式ホームページ  
QRコード  
で確認  
できる。問い合わせは小樽商工会議所、電話0134・22・1177へ。



ポスターを手に、北運河地区活性化イベントをPRするOC+の福島専務理事（右）ら



（河田俊樹）